

平成 24 年度 事業報告書

自 平成 24 年 10 月 1 日
至 平成 25 年 9 月 30 日

一般財団法人 草の根事業育成財団

I 事業報告

第 3 期となる平成 24 年度は、第 2 期より始まった草の根育成助成を主業務として引き続き行った。

医療・福祉分野は前期に選定を行った 14 事業のサポートを行い、実施企業の都合により 2 事業は辞退となったが、12 事業に対し 1,026,000 円の助成金を交付した。また、「平成 25 年度草の根育成助成」の選考を行い、15 事業を選定した。

スポーツ分野は前期に選定を行った 5 事業のサポートを行い、全事業に対し合計 508,000 円の助成金を交付した。また、「平成 25 年度草の根育成助成」の選考を行い、4 事業を選定した。

日本死の臨床研究会事務局受託事業では、滞りなく受託業務を請け負った。

以上の通り、子どもから高齢者まで 市民一人ひとりが自立（自律）し、それら各人が互いに尊重し、助け合い、共に生き生きと暮らす社会を築き、より心豊かな市民生活が実現するために事業を行い、概ね当初目標を達成できたと言える。

また、公益申請を東京都へ行い、10 月 1 日より公益法人格取得の内示を得た。

これにより、平成 25 年 10 月 1 日より公益財団法人草の根事業育成財団として活動する予定である。

【詳細報告～助成事業（医療・福祉分野）】

本事業は、医療・福祉分野において社会問題解決の為に活動している団体が行う事業に助成し、地域社会福祉の増強に寄与することを目的として実施した。また、併せて、地域に潜在する諸問題を洗い出すこと、地域で活動している諸団体と交流することを目標とした。

結果、「平成 24 年度草の根育成助成」として第 2 期に選定した 14 事業の視察、助成金振込、その他それらに付随する業務を行い、地域社会福祉の増強に寄与することが出来た。

併せて、障がい者自身の活動の力強さと障がい者をサポートしようとする方々の志の高さを垣間見ることが出来た。

「平成 25 年度草の根育成助成」の内定事業として 21 事業の中から 15 事業を選定した。

「平成 24 年度 草の根育成助成（医療・福祉分野）」

募集事業 : 東京都内の地域でおこっている医療・看護・介護・福祉領域固有の、あるいは複数の領域に重なる問題を解決するために取組んでいるプログラム事業。また、他団体などのモデルケースに成長していくことが期待されるこれらの分野に関わる調査研究事業

(平成 24 年 8 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日行われる事業)

(島しょ部を除く東京都で行われる事業)

募集期間 : 平成 24 年 5 月 21 日 (月) ～6 月 20 日 (水)

募集対象者 : 島しょ部を除く東京都に拠点を有する非営利活動団体 (任意団体を含む)

助成限度額： 50 万円

選考基準：

- ①地域の問題を適切に捉えているか
- ②問題解決のために適切な事業計画となっているか
- ③継続的に事業を行うための資金計画となっているか
- ④本事業を進める団体として適切か
- ⑤他の地域や団体への波及が考えられるか

申請及び採択件数：

(単位 円)

	申請件数	申請額	内定件数	内定額	交付額
平成 24 年度	18	3,564,000	14	2,154,000	1,026,000

助成先訪問： 今後の助成金事業の参考とするため、下記団体を訪問した。

NPO 法人 地域ケアさぼーと研究所

すきっぷ

NPO 法人 円ブリオ基金センター

若年認知症ねりまの会 MARINE

NPO 法人 I am OK の会

NPO 法人 サポートハウスじよむ

NPO 法人 東京高次脳機能障害協議会

NPO 法人 サポートクラブあすなろ

NPO 法人 日本バリアフリー協会

NPO 法人 キズキ

以上 10 団体

助成事業視察： 下記団体へ事業視察を行った。

NPO 法人 地域ケアさぼーと研究所

すきっぷ

NPO 法人 円ブリオ基金センター

若年認知症ねりまの会 MARINE

NPO 法人 I am OK の会

NPO 法人 サポートハウスじよむ

NPO 法人 東京高次脳機能障害協議会

NPO 法人 サポートクラブあすなろ

NPO 法人 日本バリアフリー協会

以上 9 団体

「平成 25 年度 草の根育成助成（医療・福祉分野）」

募集事業 : 東京都内（特に多摩地域）でおこっている医療・看護・介護・福祉領域固有の、あるいは複数の領域に重なる問題を解決するために取組んでいるプログラム事業。

また、他団体などのモデルケースに成長していくことが期待されるこれらの分野に関わる調査研究事業

（平成 25 年 8 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日行われる事業）

（島しょ部を除く東京都で行われる事業）

募集期間 : 平成 25 年 5 月 20 日（月）～6 月 20 日（木）

募集対象者 : 島しょ部を除く東京都に拠点を有する非営利活動団体（任意団体を含む）

助成限度額 : 50 万円

選考基準 :

- ①地域の問題を適切に捉えているか
- ②問題解決のために適切な事業計画となっているか
- ③継続的に事業を行うための資金計画となっているか
- ④本事業を進める団体として適切か
- ⑤他の地域や団体への波及が考えられるか

申請及び採択件数 :

(単位 円)

	申請件数	申請額	内定件数	内定額
平成 25 年度	21	5,558,000	15	2,201,000

【詳細報告～助成事業（スポーツ分野）】

本事業は、スポーツ分野において社会問題解決の為に活動している団体が行う事業に助成し、地域社会福祉の増強に寄与することを目的として実施した。また、併せて、地域に潜在する諸問題を洗い出すこと、地域で活動している諸団体と交流することを目標とした。

結果、「平成 24 年度草の根育成助成」として第 2 期に選定した 5 事業の視察、助成金振込、その他それらに付随する業務を行い、地域社会福祉の増強に寄与することが出来た。

併せて、地域社会を活性化させるツールとしてのスポーツの有効性を再確認することが出来たと共に、障がい者スポーツ・マイナースポーツへのサポート不足を垣間見ることが出来た。

「平成 25 年度草の根育成助成」の内定事業として 6 事業の中から 4 事業を選定した。

「平成 24 年度 草の根育成助成（スポーツ分野）」

募集事業 : 東京都内（特に多摩地域）でおこっている運動・スポーツ活動における問題・課題を解決するために取組んでいるプログラム事業。

また、東京都内（特に多摩地域）でおこっている地域問題を運動・スポーツを用いて解決しようとするプログラム事業。

（平成 24 年 8 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日行われる事業）

（島しょ部を除く東京都で行われる事業）

募集期間 : 平成 24 年 5 月 21 日（月）～6 月 20 日（水）

募集対象者 : 島しょ部を除く東京都に拠点を有する非営利活動団体（任意団体を含む）

助成限度額 : 50 万円

選考基準 :

- ①地域の問題を適切に捉えているか
- ②問題解決のために適切な事業計画となっているか
- ③継続的に事業を行うための資金計画となっているか
- ④本事業を進める団体として適切か
- ⑤他の地域や団体への波及が考えられるか

申請及び採択件数 :

（単位 円）

	申請件数	申請額	内定件数	内定額	交付額
平成 24 年度	9	1,657,000	5	541,000	508,000

助成先訪問： 今後の助成金事業の参考とするため、下記団体を訪問した。

武蔵野ドッジビークラブ
連光寺/聖ヶ丘地域スポーツ振興会
八王子セブンクラブ
東大和市レクリエーション協会

以上 4 団体

助成事業視察： 下記団体へ事業視察を行った。

武蔵野ドッジビークラブ
連光寺/聖ヶ丘地域スポーツ振興会
八王子セブンクラブ
東大和市レクリエーション協会

以上 4 団体

「平成 25 年度 草の根育成助成（医療・福祉分野）」

募集事業： 東京都内多摩地域でおこっている運動・スポーツ活動における問題・課題を解決するために取組んでいるプログラム事業。
また、東京都多摩地域でおこっている地域問題を運動・スポーツを用いて解決しようとするプログラム事業。

（平成 25 年 8 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日行われる事業）

（島しょ部を除く東京都で行われる事業）

募集期間： 平成 25 年 5 月 20 日（月）～6 月 20 日（木）

募集対象者： 島しょ部を除く東京都に拠点を有する非営利活動団体（任意団体を含む）

助成限度額： 50 万円

選考基準：

- ①地域の問題を適切に捉えているか
- ②問題解決のために適切な事業計画となっているか
- ③継続的に事業を行うための資金計画となっているか
- ④本事業を進める団体として適切か
- ⑤他の地域や団体への波及が考えられるか

申請及び採択件数：

（単位 円）

	申請件数	申請額	内定件数	内定額
平成 25 年度	6	1,011,000	4	782,000

【詳細報告～日本死の臨床研究会事務局事業】

(2012 年 10 月～2013 年 3 月)

- 2012.10. : 年次大会開催準備 (世話人会・通常総会資料作成)
 - 10.20 : 世話人だよりNo.77、世話人会資料発行・発送
 - 11. 2 : 2012 年度世話人会開催
 - 3 : 第 36 回年次大会・通常総会
- 2012.12.24 : 世話人だよりNo.78 ・ 世話人名簿 発行・発送
- 2013. 1. : 2012 年度第 2 回常任世話人会資料 作成・発送
 - 1.20 : ニュースレターNo.67 発行・HP 更新
 - 1.26 : 2012 年度第 2 回常任世話人会開催
 - 3.28 : ニュースレターNo.68 発行・発送 (年次大会案内・年会費請求書同封)

II 事務報告

1. 基本財産

2013 年 9 月 30 日現在における当財団の基本財産は次の通りである。

設立時受入額	3 百万円
合 計	3 百万円

2. 役員

代表理事	長谷 公人
理 事	加藤 智弘
理 事	新津 ふみ子
監 事	成田 創史

平成 25 年 9 月 30 日現在 計 4 名

3. 評議員

三枝 好幸	聖ヶ丘病院ホスピス長
長谷 方人	有限会社暁記念交流基金 代表取締役
早川 武彦	一橋大学名誉教授

平成 25 年 9 月 30 日現在 計 3 名

4. 理事会

平成 24 年度における理事会は次のとおり 5 回実施した。

第 3 回理事会

- ・日時：平成 24 年 11 月 11 日（日） 10 時
- ・場所：ケアタウン小平 2 階タヴェルナ
- ・内容：平成 23 年度事業報告及び収支決算の承認

資産運用規程一部変更
余剰金の特定資産への繰入れ
特定資産の定め
第 2 期事業報告及び決算報告について

第 4 回理事会

- ・日時：平成 24 年 11 月 11 日（日） 12 時
- ・場所：ケアタウン小平 2 階タヴェルナ
- ・内容：代表理事選定

第 5 回理事会

- ・日時：開催省略（電磁的記録により承認）
- ・内容：第 4 回評議員会の招集

第 6 回理事会

- ・日時：開催省略（電磁的記録により承認）
- ・内容：第 5 回評議員会の招集

第 7 回理事会

- ・日時：開催省略（電磁的記録により承認）
- ・内容：平成 25 年度事業計画、資金調達及び設備投資見込み
平成 25 年度収支予算案

5. 評議員会

平成 24 年度における評議員会は次のとおり 3 回実施した。

第 3 回評議員会

- ・日時：平成 24 年 11 月 11 日（日） 11 時
- ・場所：ケアタウン小平 2 階タヴェルナ
- ・内容：平成 23 年度事業報告及び収支決算の承認
理事 3 名選任
監事 1 名選任
定款一部変更
資産運用規程一部変更

第 4 回評議員会

- ・日時：開催省略（電磁的記録により承認）
- ・内容：報酬規程の制定

第 5 回評議員会

- ・日時：開催省略（電磁的記録により承認）
- ・内容：定款の修正
報酬規程の修正

6. 監査の実施

監事監査

- ・日時：平成 24 年 10 月 10 日（水） 11 時～12 時
- ・場所：一般財団法人草の根事業育成財団 事務室
- ・監事：青木耕一郎
- ・内容：第 2 期事業報告、決算（財務諸表）、収支計算、帳簿、伝票等の監査

7. 登記事項

平成 24 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

第 2 回草の根育成助成
採択事業一覧

医療・福祉分野

	法人格	団体名	事業名	課題	市町村
1	NPO法人	地域ケアさぼーと研究所	重症心身障害者・児への支援者の育成事業 (介護職調理解講座)	摂食嚥下障害のある方の食生活	小平市
2		すきっぷ	エアロビクスクラブ	障害者の余暇活動の場が少ない	小平市
3		すきっぷ	ミュージックベルクラブ	障害者の余暇活動の場が少ない	小平市
4	NPO法人	地球冒険学校準備会	地域冒険学校交流セミナー「雪と遊ぶin高遠」	障害児・者の社会参加と理解の不足	八王子市
5	NPO法人	円プリオ基金センター	妊産婦相談のカウンセラー養成事業	虐待死	渋谷区
6		若年認知症ねりまの会 MARINE	若年認知症者の配偶者・子どもへのサポートブック作成事業	若年認知症の家族が在宅介護をするにあたり、 十分なソーシャルサポートを得られない	練馬区
7		若年認知症ねりまの会 MARINE	若年認知症者の介護家族への介護学習プログラム開発事業	若年認知症の家族が在宅介護をするにあたり、 十分なソーシャルサポートを得られない	練馬区
8		若年認知症ねりまの会 MARINE	若年認知症の親を持つ子どものピアサポート事業	若年認知症の家族が在宅介護をするにあたり、 十分なソーシャルサポートを得られない	練馬区
9	NPO法人	サポートクラブあすなる	ふきのとう	障害児者の自立体験および家庭への支援が少ない	小平市
10	NPO法人	サポートハウスじよむ	ケアする人のためのケアワークショップ～私が変わる・職場が変わる スーパービジョンの始め方講座	支援に携わる人が支援を通して疲弊している	渋谷区
11	NPO法人	東京高次脳機能障害協議会	高次脳機能障害者のための「医療及び家族相談交流会」	高次脳機能障害の理解度や相談支援・支援サービスの地域格差	港区
12	NPO法人	I am OKの会	発達障害児が困っていること、親が困っていることを理解し、支え、 応援するための学習会シリーズ	発達障害児の課題を解決するための学びの場がない	練馬区
13	NPO法人	日本バリアフリー協会	重度の障がいを持つ児童・生徒へ先輩音楽家による 「学校へ行こう！」企画	移動困難な重度障がい児のコンサート鑑賞の機会及び バリアフリー支援に関する情報の不足	千代田区
14	NPO法人	キズキ	不登校・ひきこもりなど困難を抱える若者を対象とした勉強合宿	不登校・中退・ニートからの社会復帰の難しさ	豊島区

スポーツ分野

	法人格	団体名	事業名	課題	市町村
1		三鷹市釣魚連盟	三鷹市民アジ釣り大会	市民の高齢化に伴う諸問題	三鷹市
2		東大和市レクリエーション協会	健康レク・スポーツ指導者養成事業	スポーツ人口の固定化	東大和市
3		八王子セブクラブ	精神障害者が社会復帰を目指すスポーツ活動事業	精神障害者に対する理解不足と偏見	八王子市
4		武蔵野市ドッジビークラブ	武蔵野市ドッジビー普及事業	子ども達の基礎体力低下	武蔵野市
5		連光寺/聖ヶ丘地域スポーツ振興会	地域大運動会の立案企画と実施	住民相互の交流希薄、 高齢化や独居率増加による地域とのふれあい減少	多摩市